

作成日：2010年4月 1日

改訂日：2017年2月15日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 マルチシール

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用防水材 等）

整理番号 AR-E018

2. 危険有害性の要約

重要な兆候及び想定される非常事態の概要

最重要危険有害性：

有害性： 情報なし。

物理的及び化学的危険性：

指定可燃物 可燃性固体類。

特定の危険有害性： 情報なし。

分類の名称（分類基準は日本方式）：引火性液体類。

GHS分類

引火性液体	分類対象外	発がん性	区分外
急性毒性 経口	区分外	生殖毒性	区分外
急性毒性 経皮	区分外	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分外
急性毒性 吸入（蒸気）	分類できない	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外	吸引性呼吸器有害性	分類できない
眼損傷/刺激性	区分外	水生環境有害性(急性)	区分外
皮膚感作性	区分外	水生環境有害性(長期間)	区分外
呼吸器感作性	区分外		

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

マルチシール

GHS ラベル要素：なし

注意喚起語：なし

注意書き

＜安全対策＞

- ・ 取扱い後は良く手を洗うこと。

＜救急処置＞

- ・ 火災の場合：消火するために粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂を使用すること。

＜保管＞

- ・ 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。

＜廃棄＞

- ・ 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

製品は混合物

化学名または一般名

ポリエーテル混和物

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ポリエーテル化合物	20～25	非公開	非公開(登録済み)	非公開
フタル酸ジイソデシル(DIDP)	5～10	$C_6H_4(COOC_{10}H_{21})_2$	(3)-1307	26761-40-0

その他充填材等を含め、全体で 100%

4. 応急措置

皮膚に付着した場合：

- ・ 人体に影響のない有機溶剤（例えばエタノール等）で直ちに洗い落とし、その後石鹼水にてよく洗浄する。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

目に入った場合：

- ・ 多量の清浄な水で15分以上洗浄し、直ちに医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・ 可能な限り吐き戻し、直ちに医療処置を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：

粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂が有効である。

特定の消火方法：

消火作業は可能な限り風上から行う。

移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

初期消火には粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

周辺火災の場合は、周囲の設などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護： 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 作業者は適切な保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
適切な保護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項： 河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。

除去方法： 少量の場合はウェス、新聞紙等で吸収、あるいはつつみ取り、焼却する。大量の場合は盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収し、焼却する。なお、処置時は、漏出した場所の州周囲にロープを貼るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

二次災害の防止策： すべての着火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体排気 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
吸入又は飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
取扱い後は良く手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策 炎、火花、もしくは高温体との接近または過熱を避けること。

適切な保管条件 当製品は湿気と反応するため、貯蔵時には湿気や水を避ける。

混触危険物質 「10. 安定性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 当製品取扱い場所には局所排気設備を設置する。

管理濃度及び許容濃度：

成 分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH(2005)
ポリエーテル化合物	—	勧告値なし	勧告値なし
フタル酸ジイソデシル(DIDP)	—	勧告値なし	勧告値なし

保護具

呼吸器用の保護具	適切な呼吸器保護具を使用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を使用すること。
目の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。
適切な衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状：	粘稠液体。	
色：	黒色。	
臭い：	微臭あり。	
pH：	データなし。	
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲：	データなし。	
融点：	データなし。	
沸点：	データなし。	
引火点：	280℃以上	
爆発特性：	データなし。	
比重：	1.6～1.8(25℃)	
溶解性	溶媒に対する溶解性	水に不溶。溶剤に可溶。
オクタノール／水分配係数：	データなし。	
分解温度：	データなし。	
その他のデータ：	データなし。	

10. 安定性及び反応性

反応性：	水あるいは湿気との反応により微量のメタノールを発生し、ゲル化していく。 ただし反応は穏やかでゲル化物も特に有害ではない。
化学的安定性：	通常の条件では、危険有害な反応は起こらない。
避けるべき材料：	加熱、湿気、水分。
混触危険物質：	特になし。
危険有害な分解生成物：	不完全燃焼すれば一酸化炭素が発生する。

11. 有害性情報

- 急性毒性（経口）：ポリエーテル化合物LD50(ラット) 20,000mg/kg以上
 フタル酸ジイソデシル(DIDP)LD50(ラット) 6,400mg/kg以上
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 急性毒性（経皮）：フタル酸ジイソデシル(DIDP)LD50(ウサギ) 3,600mg/kg以上
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 急性毒性（吸入）：フタル酸ジイソデシル(DIDP)LC50(ラット)>130mg/L(6h)
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 皮膚腐食性／刺激性：フタル酸ジイソデシル(DIDP)；区分外
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 眼損傷／眼刺激性：フタル酸ジイソデシル(DIDP)；区分外
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 皮膚感作性：データ不足のため分類できない。
- 呼吸器感作性：データ不足のため分類できない。
- 変異原性：データ不足のため分類できない。
- 発がん性：データ不足のため分類できない。
- 生殖毒性：フタル酸ジイソデシル(DIDP)
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：
 データ不足のため分類できない
- 特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：
 データ不足のため分類できない
- 吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。
- その他の情報：情報なし。

12. 環境影響情報

- 生態毒性：
- 水性環境有害性：フタル酸ジイソデシル(DIDP)；魚類(ヒメダカ)LC50 $\geq$ 3,000mg/l(48h)
 ポリエーテル化合物；情報なし
 上記より混合物として水性環境有害性(急性)は区分外に分類される。
 また、蓄積性のデータより、水性環境有害性(長期間)は区分外に分類される。
- 残留性／分解性：フタル酸ジイソデシル(DIDP)；良分解性である。
- 生体蓄積性：フタル酸ジイソデシル(DIDP)；生体蓄積性が低い。
- 移動性：データなし。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物業者に処理を委託する。焼却する場合は、排ガス洗浄装置を備えた焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。この物質が河川、湖沼、海域、下水等に排出されないよう十分に注意する。
- 汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。これを含む

排水は活性汚泥等の処理により洗浄してからでないと排出してはならない。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類： 該当なし

国連番号： 該当なし

国内規制：

陸上規制情報：消防法の規定に従う。

毒劇法の規定に従う。

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報：航空法の規定に従う。

特別の安全対策：危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下、転倒もしくは破損しないように積載すること。

災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

安衛法第57条の2第1項 非該当

化学物質管理促進法 (PRTR) 非該当

消防法 指定可燃物 (可燃性固体類) (法第2条第7項危険物別表第1)

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (N I T E) ホームページ G H S 分類結果データベース
原料メーカーの S D S

日本塗料工業会編集 「原材料物質データベース」

国際化学物質安全カード (I C S C)

製品安全データシートの作成指針 (改訂版) 日本規格協会 (2001年10月)

日本工業規格 J I S Z 7253 : 2012 G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

危険物船舶運送及び貯蔵規則 14訂版 海文堂

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。

マルチシール

- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。